

軽井沢町は3月29日、町外の事業者が企業名や商品名に「軽井沢」の名称を使わないよう、最大限の配慮を求める声明を出した。訪問客や消費者の誤解を防ぎ、軽井沢のブランド価値を維持するのがねいだ。藤巻進町長は「軽井沢の名称は、町民にとって一級の無形の財産」とし、その価値を発展させる使命があると強調した。

町外事業者が企業名や商品名に「軽井沢」を使用する際は、事業所が町内に存在しないことを、広くわかりやすく周知するように求めた。以前から使われている御代田町の「西軽井沢」、群馬県の「北軽井沢」の名称は対象外とした。

声明は軽井沢町商工会、軽井沢観光協会、軽井沢旅館組合の連名。町は近隣の長野、群馬両県6自治体で「軽井沢」の名称を使う59の企業名を確認している。町外製造の商品名は、多いこともあり数は不明だという。

「軽井沢」使わないで 町が町外企業へお願い



会見を開き、声明を出した藤巻町長。

町は、誤解を生んでいる例の一つに、軽井沢と名前のついた宿泊施設へタクシーで向かった観光客から「遠すぎる」「料金が高すぎる」などの苦情が、数十年前からあることを挙げた。声明は全国放送のテレビなどでも取り上げられ、町内外から賛否両論の声が挙がった。

軽井沢リゾートテレワーク協会が、第21回 テレワーク推進賞（日本テレワーク協会主催）の促進部門で優秀賞を受賞した。88件のエントリーのうち、15件が受賞。イベントや講演などを通じ、休暇を過ごしながらか「ワーケーション」を普及したことが評価された。同協会会長の土屋芳春さんが3月10日、藤巻進軽井沢町長へ受賞を報告。「民間のテレワーク施設がまだまだ増えていきそうな勢いの中、受賞したことは大変名誉なこと」と喜びを語った。

ワーケーションの普及が評価 軽井沢テレワーク協会が受賞



受賞を報告する鈴木幹一さん（左）と、土屋芳春会長（右）。

軽井沢消防署は3月9日、心筋梗塞で倒れた60代女性の命を救ったとして、星野リゾート軽井沢ホテルブレストンコートと、同社サービススタッフの小沼舞子さん、菊地唯果代さん、穂谷和美さんに感謝状を贈った。

女性は昨年12月5日、結婚式参列のためホテルを訪問。体調が悪く横になっていたところ、呼吸が途絶え意識がなくなるなど急変。付き添っていた穂谷さんが、速やかに周囲に協力を呼びかけ119番通報。菊地さんと小沼さんが心臓マッサージ、自動体外式除細動器（AED）の操作を行い、処置内容を救急隊へ引き継いだ。女性は病院搬送時心臓停止状態だったが、その後回復し社会復帰した。

救急処置で、倒れた女性の命救う ホテルスタッフらに感謝状



佐藤一明署長は「素早い通報と、迅速で的確な救命処置で尊い命が救われた」と感謝。3人は救命講習を受けていて「学んだことを生かせるよう、冷静でいることは大事だと感じた」（菊地さん）。「光栄だが恐れ多い。もっとできることを増やしたい」（穂谷さん）。「命が救われたのは、救急隊、病院の先生ら、みなさんの力があつたからこそ」（小沼さん）と話した。

NEWS DIGEST

■「CO2 排出実質ゼロ」へ、ロードマップ公表

軽井沢町は3月12日、2050年までに「CO2 排出実質ゼロ」を実現するため、具体的な方向性を示したロードマップを公表した。水素ステーションの設置や、燃料電池車、電気自動車の普及に取り組み、往來する車すべてのクリーンエネルギー化を目指すとしている。ほかには森林の適切な管理、高断熱・高気密住宅の促進などに取り組む。ロードマップは、町ホームページで公開している。

■ 町と日本郵便が協定締結 地域活性化などで協力

軽井沢町と町内5つの郵便局が3月16日、地域活性化などで協力する包括連携協定を結んだ。両者は2017年、高齢者や児童の見守り、災害時の協力などで協定を締結。今回は、子どもの育成や地方創生など、新たな分野の協力体制を構築。住民サービスの更なる向上をはかる。



■ ライオンズクラブ 軽高へタブレット6台寄贈

軽井沢ライオンズクラブが軽井沢高校にタブレット6台(50万円分)を寄贈した。同クラブの50周年記念事業の一環。同校は地域問題の解決方法などを考える「探求」授業でタブレットを使用していたが、生徒分数が不足していた。3月22日に行われた贈呈式で目録を受け取った生徒会長の宮原弘夢さんは「ほぼ全員がタブレットを持つことができるようになりました。調べ学習や発表などに活用していきたいです」と感謝を述べた。



■ 公示地価、住宅地で前年比最大10% 上昇

国土交通省が3月23日発表した公示地価（2021年1月1日現在）で、県内の多くの市町村で地価が下がるなか、軽井沢町は住宅地、商業地ともに高い上昇率を示した。住宅地は前年比で最大10%上昇。新型コロナウイルスの影響によるテレワークの普及などで、別荘地の需要がさらに高まったとみられている。

■ 浅間山噴火警戒レベル「2」に引き上げ

気象庁は3月23日16時、浅間山の火山活動が高まっていることから、噴火警戒レベルを「1（活火山であることに留意）」から「2（火口周辺規制）」に引き上げた。山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす、小噴火が発生する可能性があるとして警戒を呼びかけている。15日頃から浅間山西側で膨張を示す、わずかな傾斜変動を確認。山体の浅いところを震源とする火山性地震も、増加傾向にあるという。

世界最高水準をクリアした薪ストーブ

〈ヨーロッパ伝統のネスターマーティン〉

NESTOR MARTIN

1. 世界最高峰の美しい炎「WOOD BOXシステム」
2. 巨大地震から別荘を守る「耐震装置」取付け可能
3. 軽井沢町の環境宣言に対応する「CO2排出実質0」



※WOOD BOXの多次燃焼システムによるネスターマーティンの特許技術WOOD BOX 多次燃焼方式の薪ストーブは軽井沢高原の貴重な針葉樹であるカラ松などを有効に燃焼することが出来ます。多次燃焼は再燃焼を何回にも行うことで暖かしくも長く持ち続ける美しいオーロラ炎は貴族の別荘空間を演出します。

煙突耐震補強 無料診断中！

東日本大震災から10年、薪ストーブと煙突 安全無料点検中！

別荘向きの高性能静音 バッテリーチェーンソー

ハスクバーナの試し切りイベント 5/4(祝・火)・5/5(祝・水)

新割リ斧体験教室も実施します

かわはら薪ストーブ本舗 北軽井沢店
〒377-1412 群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢 1990-643

☎090-3594-9210



ネスターマーティン最大機種TQH33などを展示する関東地区最大のショールーム

VISION STATION
by komiyama

はめんしゅうさかいせきそうち
最新の波面収差解析装置を導入

白内障やレーシック等の高度な医療に利用される波面収差解析は波のように光の輪を目に送り、角膜と水晶体の度数を0.01D(ディオプトリー)単位で解析します。また店長は米のオプトメトリー(検眼学)を学び、ドイツのZEISS(カールツァイス)レンズを中心に眼の度数や使用目的に最適なメガネをご提案します。

【JOA公認SS級認定眼鏡士】【認定補聴器専門店】
営/10:00~18:00(受付17:00迄) 休/火曜定休 完全予約制
TEL0267-41-6373 <http://www.eyeloveyou.jp>

メガネレンズで初めてISO認証
4月1日(木)発売開始

抗ウイルス + 抗菌加工
メガネレンズ

Vision Station 軽井沢
vision station karuizawa